

を及ぼした。

- (イ) 竈の火が減不十分で多く燃料を要した。
- (ロ) 増量剤として大豆は水漬後原料ひじきと共に煮熱法も考へられる。
- (ハ) 生産品は少し高くなるが保蔵上醤油の量を増加するが良い。
- (ニ) 同製品は保蔵性を工夫すれば農漁村向産製品として有望であらう。

(6) 試 売 結 果

民間業者、石原昌一郎氏に依り市場試売されたが、売れゆき良好であつた由報告があつた。

・ 琉球近海に於ける有用介藻類及び棘皮動物の棲息状況調査

琉球近海に於ける有用介藻類棘皮動物の棲息状況を調査し、将来これらの利用開発の資料に供せんがため昨年度に継続して実施した。

(一) 中 城 湾 沿 岸

1. 調査場所及び期間

- 場 所 知念村 (俗赤ウカビ、クマカ島周辺リーフ)
- 百原村 (津波地先、俗称ノーイビシ、チカシ浅海リーフ)
- 期 間 1956年9月11日～12日 2日間
- 調査方法 本所試験船 鷗丸 (5屯) 使用、水鏡及び潜りに依る。

イ. 浪 (岩礁地帯) 干渉帯及び三尋線以内の採取標本

百 原 村 津波地先リーフ	知 念 村 (ウカビクマカ島周辺リーフ)
甲殻類、口吻類 やどかり類、あなじやこ、ひらじやこ、鯛がに ひらいそがに。	やどかり、とろがに、かのこ、てうがに、しょうじ んがに、しやこもどき。
軟体動物 ひざらがひ、つひらむし、黒原貝、玉貝、く も貝、腕球あこやがひ、高原貝、うみにな	ひれこやしがひ、うみにな、淡色だから、あまをぶね 八丈だから、かひかむり、うしのあし、うしのつめ
棘皮動物 水くちげ。	水くちげ。
棘皮動物 ばふんうに、あかうに、むらさきうに、がせ、 くもひとて、くらなまこ。	ばふんうに、むらさきうに、ちつぱりに、がせ くもひとて、くらなまこ、じやのめなまこ
磯 魚 類 べも類、たざだひめじ、其の他磯魚類。	